



平成 18 年 11 月 7 日

**ZAPPALLAS**

各 位

会 社 名 株式会社 ザ ッ パ ラ ス  
(コード番号 3770 東証マザーズ)  
本社所在地 東京都渋谷区恵比寿一丁目 19 番 19 号  
代表者名 代表取締役社長 杉山 全功  
問 合 せ 先 取締役執行役員管理本部長 山崎 浩史  
T E L 03-5475-7133 (代表)  
U R L <http://www.zappallas.com/>

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 18 年 6 月 15 日の決算発表時に公表いたしました平成 19 年 4 月期中間(平成 18 年 5 月 1 日～平成 18 年 10 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 19 年 4 月期 中間連結業績予想数値の修正 (平成 18 年 5 月 1 日～平成 18 年 10 月 31 日)

(金額の単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 18 年 9 月 11 日発表)	3,309	419	199
今回修正予想 (B)	3,241	650	348
増減額 (B - A)	68	231	149
増減率 (%)	2.1	55.1	74.9
前期 (平成 18 年 4 月期中間) 実績	-	-	-

(注) 平成 18 年 4 月期中間については連結財務諸表を作成していないため、記載を省略しております。

2. 平成 19 年 4 月期 中間個別業績予想数値の修正（平成 18 年 5 月 1 日～平成 18 年 10 月 31 日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A） （平成 18 年 9 月 11 日発表）	2,787	360	164
今回修正予想（B）	2,758	660	371
増減額（B - A）	29	300	207
増減率（％）	1.0	83.3	126.2
前期（平成 18 年 4 月期中間）実績	2,129	322	198

3. 理由

（単体業績）

当中間期におきましては、デジタルコンテンツ事業において利益率の高い新規コンテンツの投入が順調に進み、利益面におきまして計画を上回る見込みとなりました。またコマース関連事業につきましては、モバイルコマース事業における収益構造の改革を重要な課題として認識し、商品構成の見直しを推し進めてきた結果、当初見込んでおりました営業損失が縮小され、収益の改善につながってまいりました。これらの結果、経常利益が当初予想を 83.3%上回る見込みとなり、あわせて当期純利益につきましても 126.2%上回る見込みとなっております。

（連結業績）

当中間期における連結業績につきましては、携帯販売を展開している株式会社ジープラスにおいてソフトバンクショップの新規出店を積極的に推進しており、出店準備に伴う営業損失が発生しております。株式会社アレス・アンド・マーキュリーにおきましては、当子会社が展開しているデジタルコンテンツの提供及びモバイルでの広告配信サービスの高付加価値化を事業方針として、当中間期においては事業立上げ時の投資フェーズから利益創出のステージへの転換に成功し、順調に推移いたしました。

なお通期（平成 18 年 5 月 1 日～平成 19 年 4 月 30 日）の業績予想につきましては、前回予想発表時から変更はございません。

（注）本資料における業績の見通しは、当社が現時点で入手可能な情報による判断、及び判定に基づいて算定しております。従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の売上高及び利益は当該予想数値と異なる場合があることをご承知おきください。

以上